

令和元(2019)年度

歯及び口腔の健康づくりに関する報告書

栃木県

歯及び口腔の健康づくりに関する報告について

栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例（平成 22 年栃木県条例第 50 号）第 10 条の規定により、歯及び口腔の健康づくりに関する報告書を提出します。

令和元(2019)年9月 18 日

栃木県知事 福田 富一

目 次

I	はじめに	p. 1
II	県民の歯及び口腔の健康の状況	
	1 1歳6か月児	p. 1
	2 3歳児	p. 5
	3 園児・児童・生徒	p. 9
	4 成人・高齢者	p. 14
III	平成30年度歯科保健医療事業体系	p. 17
IV	平成30年度に講じた施策	
	1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	p. 18
	2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及	p. 21
	3 障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保	p. 22
	4 歯科保健医療提供体制の整備	p. 25
V	令和元(2019)年度に講じる施策	p. 29
VI	資料：市町の歯科保健推進に関する条例制定及び計画策定状況	p. 31

I はじめに

この報告書は、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」（以下、「条例」という。）第10条の規定に基づき、歯及び口腔の健康の状況並びに県が歯及び口腔の健康づくりの推進に関して、平成30年度に講じた施策及び令和元(2019)年度に講じる施策を県議会に報告し、県民に公表するものです。

II 県民の歯及び口腔の健康の状況

各ライフステージ（1歳6か月児・3歳児・園児・児童・生徒・成人・高齢者）の県民の歯や口腔の健康の状況については次のとおりです。

1 1歳6か月児

市町が母子保健法（昭和40年法律第141号）第12条に基づき実施した満1歳6か月を超え満2歳に達していない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

(1) 健康診査の受診状況

平成29年度における県内全域の対象者数は15,280人であり、うち健康診査の受診者数は14,844人でした。受診者のうち、むし歯がある1歳6か月児は192人でした。（表1）

表1 1歳6か月児健康診査の受診状況（平成29年度）

地域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ない者 (人)	むし歯の ある者 (人)	むし歯 有病率 (%)	むし歯の 総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,769	4,624	97.0	4,576	48	1.04	127	0.03
県西地域	1,214	1,166	96.0	1,147	19	1.63	33	0.03
県東地域	1,087	1,041	95.8	1,030	11	1.06	30	0.03
県南地域	3,670	3,588	97.8	3,533	55	1.53	136	0.04
県北地域	2,717	2,650	97.5	2,616	34	1.28	104	0.04
安足地域	1,823	1,775	97.4	1,750	25	1.41	85	0.05
県合計	15,280	14,844	97.1	14,652	192	1.29	515	0.03

（厚生労働省「平成29年度 地域保健・健康増進事業報告」）

※ 地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

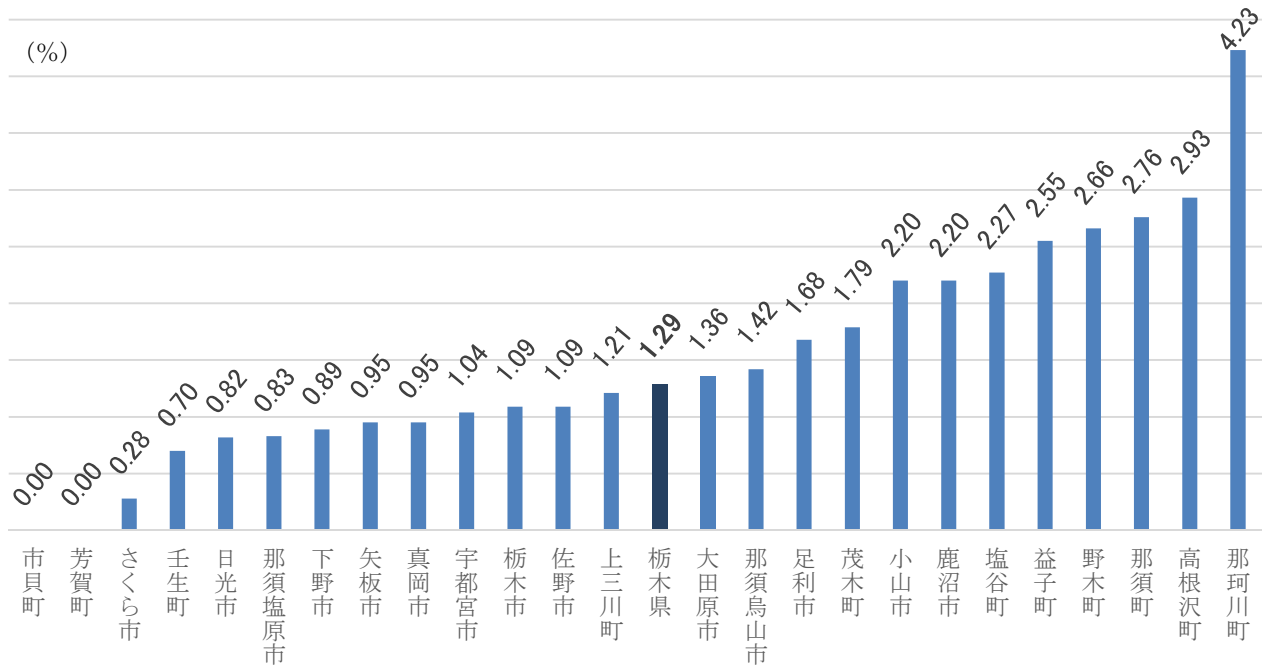
○安足地域：足利市、佐野市

(2) むし歯有病率

平成 29 年度におけるむし歯有病率は県平均が 1.29%であり、最も高かったのは那珂川町で 4.23%、最も低かったのは市貝町、芳賀町で 0.00%でした。(図 1)

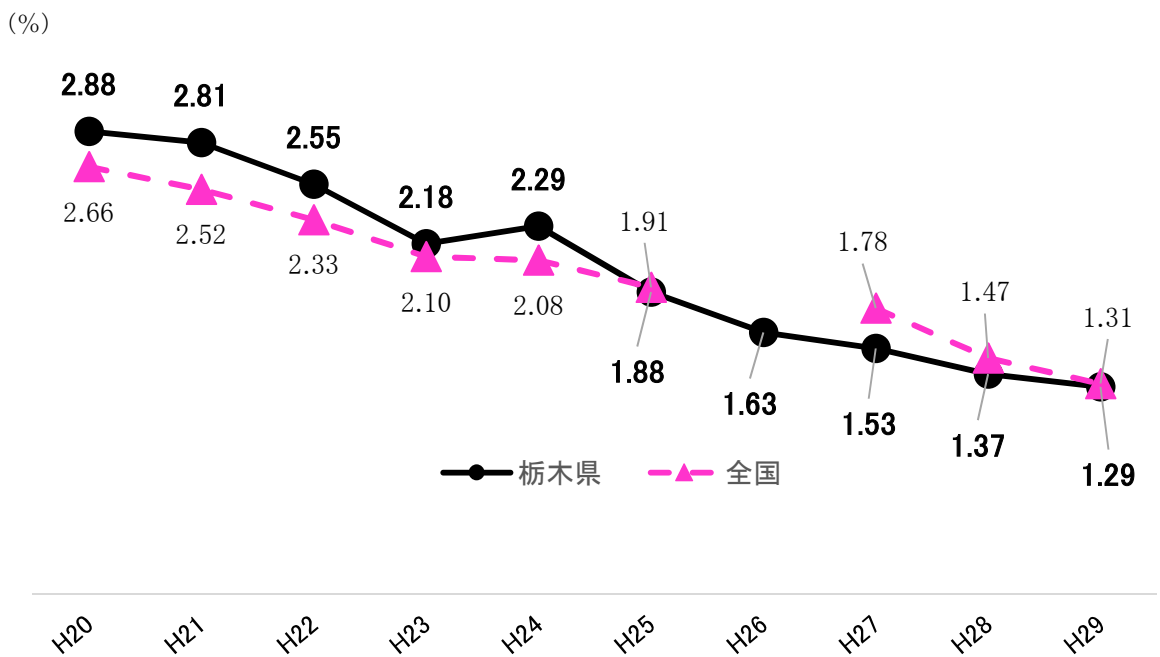
本県の有病率は平成 24 年度までは全国平均を上回っていましたが、平成 25 年度以降は全国平均を下回っています。(図 2)

図1 県内における1歳6か月児のむし歯有病率 (平成 29 年度)



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

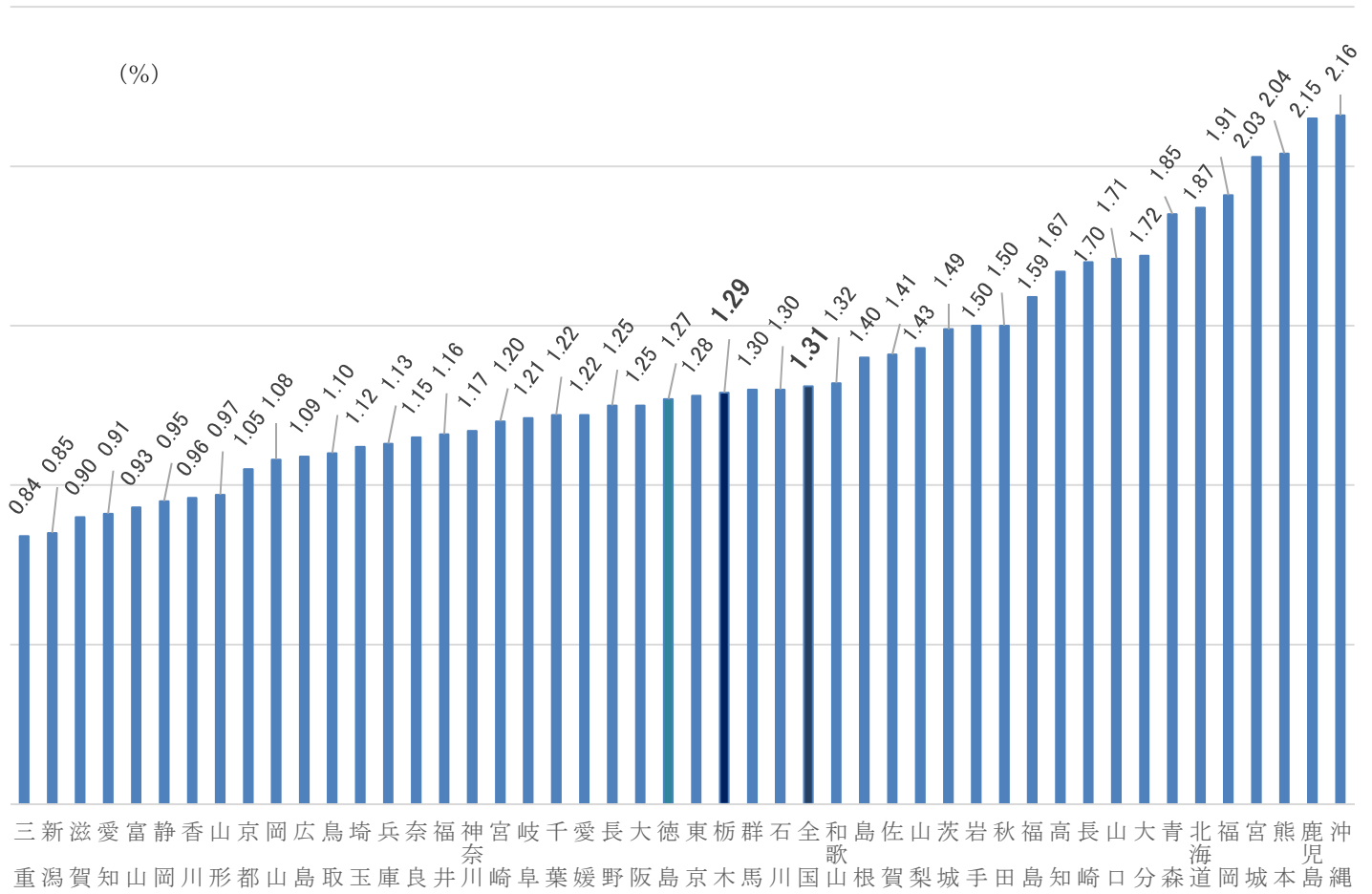
図2 1歳6か月児のむし歯有病率の推移



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

※平成 26 年は厚生労働省において未公表

図3 都道府県別 1歳6か月児のむし歯有病率 (平成29年度)



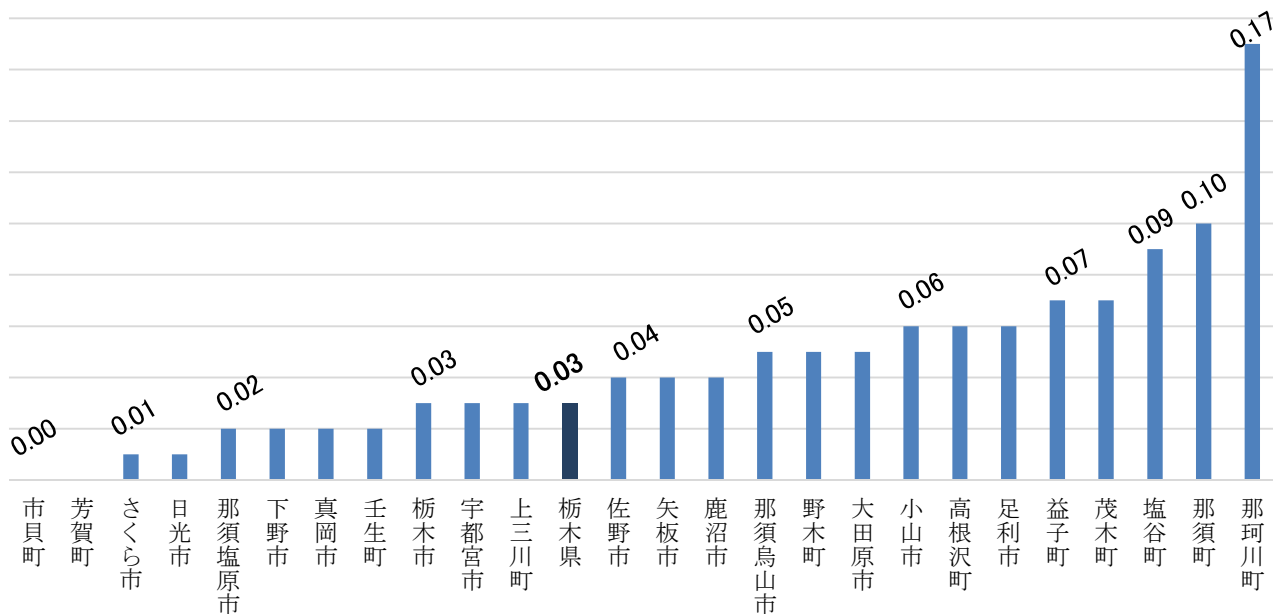
(厚生労働省「平成29年度 地域保健・健康増進事業報告」)

(3) 一人平均むし歯数

平成29年度における一人平均むし歯数は県平均が0.03歯であり、最も多かったのは那珂川町で0.17歯、最も少なかったのは市貝町、芳賀町で0.00歯でした。(図4)

図4 県内における1歳6か月児の一人平均むし歯数 (平成29年度)

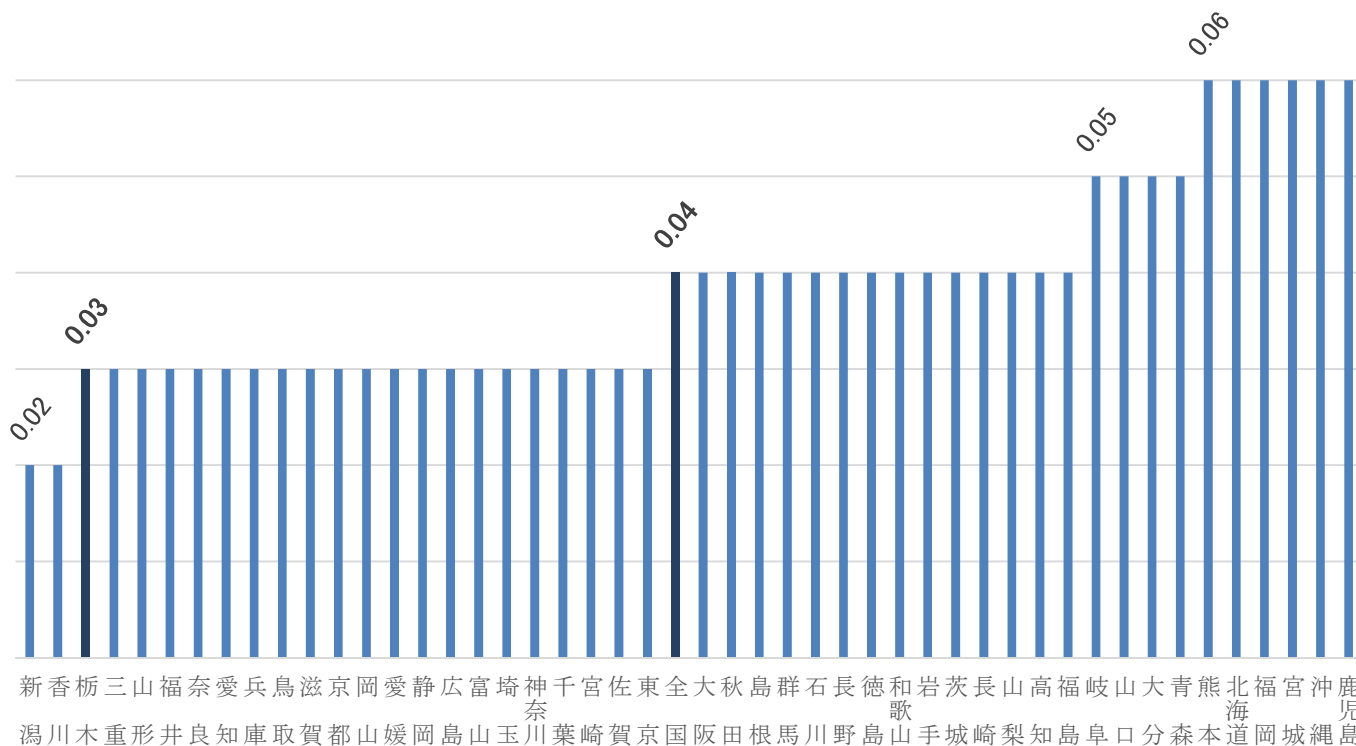
(歯)



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

図5 都道府県別 1歳6か月児の一人平均むし歯数 (平成29年度)

(歯)



(厚生労働省「平成29年度 地域保健・健康増進事業報告」)

2 3歳児

市町が母子保健法第12条に基づき実施した満3歳を超え満4歳に達しない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

(1) 健康診査の受診状況

平成29年度における県内全域の対象者数は15,902人であり、うち健康診査の受診者数は15,332人でした。受診者のうち、むし歯がある3歳児は2,244人でした。(表2)

表2 3歳児健康診査の受診状況 (平成29年度)

地域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯のない者 (人)	むし歯のある者 (人)	むし歯有病率 (%)	むし歯の総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,814	4,631	96.2	4,094	537	11.60	1,799	0.39
県西地域	1,259	1,208	95.9	1,036	172	14.24	587	0.49
県東地域	1,211	1,179	97.4	986	193	16.37	623	0.53
県南地域	3,867	3,760	97.2	3,184	576	15.32	2,139	0.57
県北地域	2,840	2,730	96.1	2,298	432	15.82	1,427	0.52
安足地域	1,911	1,824	95.4	1,490	334	18.31	1,138	0.62
県合計	15,902	15,332	96.4	13,088	2,244	14.64	7,713	0.50

(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

※ 地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

○安足地域：足利市、佐野市

(2) むし歯有病率

平成 29 年度におけるむし歯有病率は県平均が 14.64%であり、最も高かったのは那珂川町で 25.32%、最も低かったのは高根沢町で 9.66%でした。(図 6)

また、本県の有病率は年々減少しており、平成 27 年度と 28 年度は全国平均を下回りましたが、29 年度はわずかに上回りました。(図 7)

図6 県内における3歳児のむし歯有病率 (平成 29 年度)

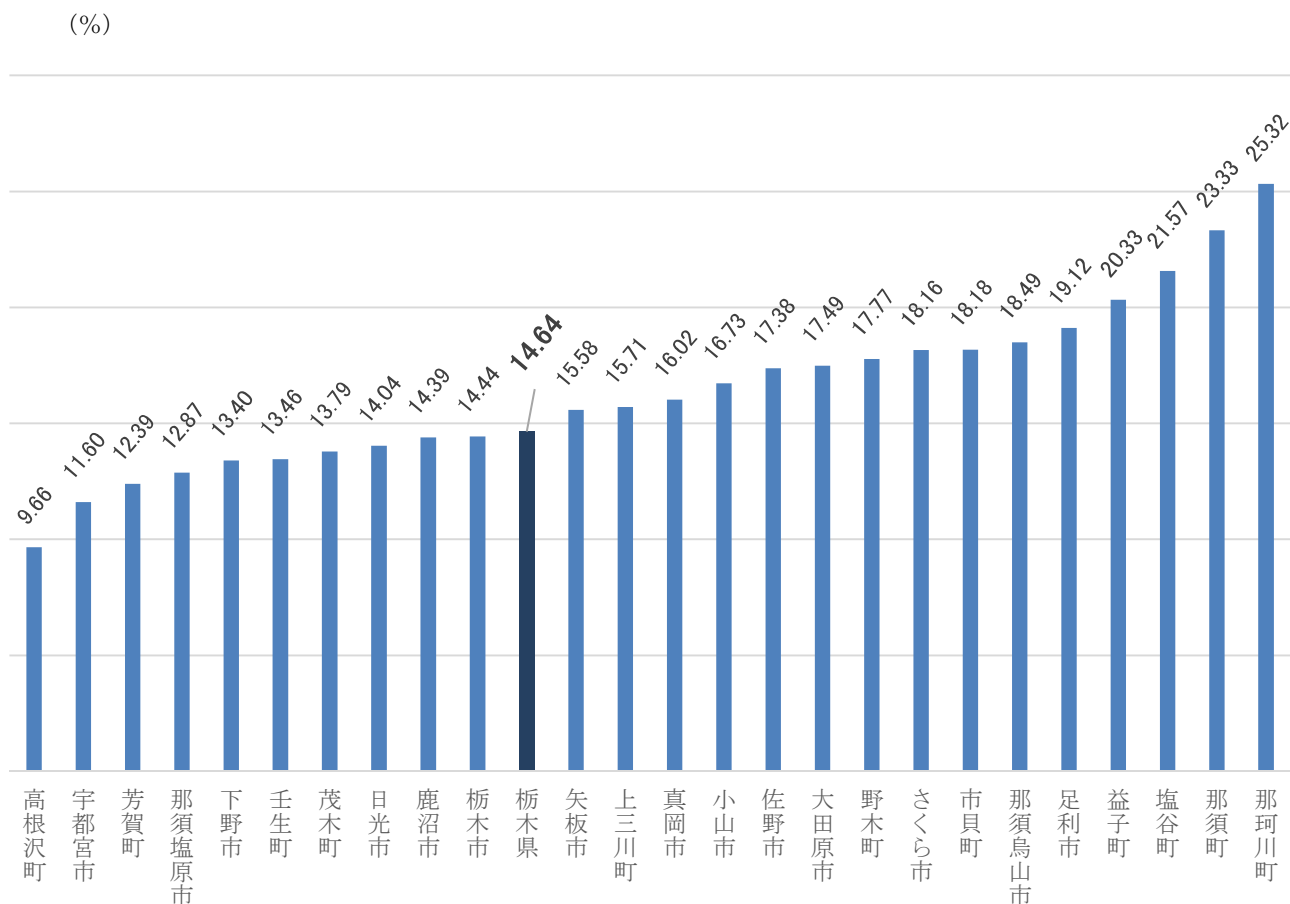


図7 3歳児のむし歯有病率の推移

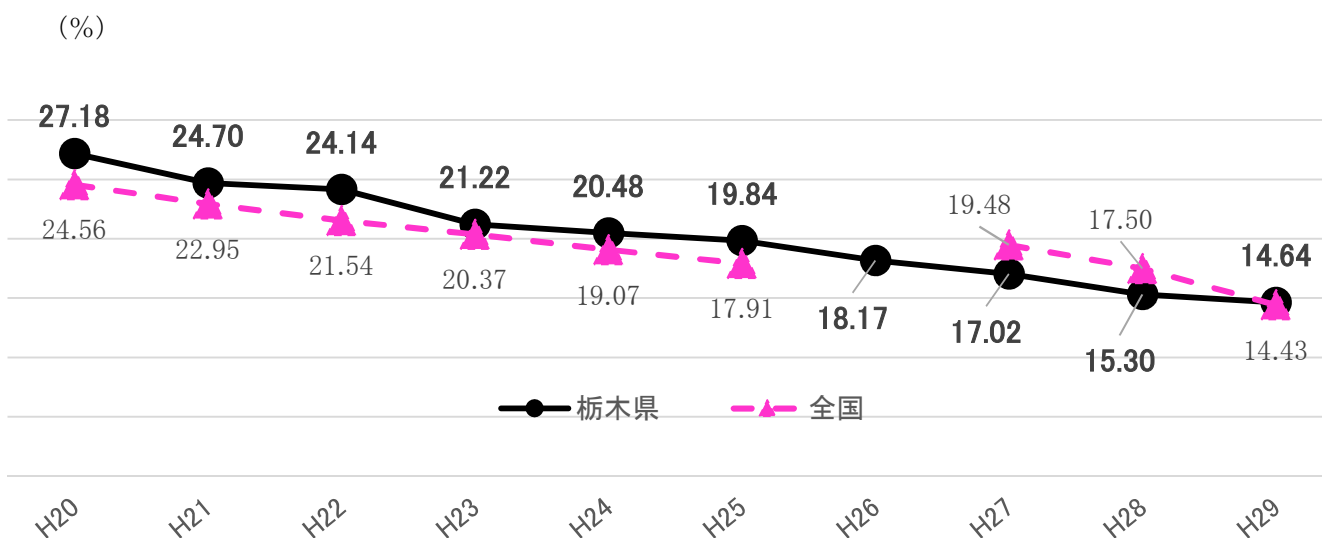
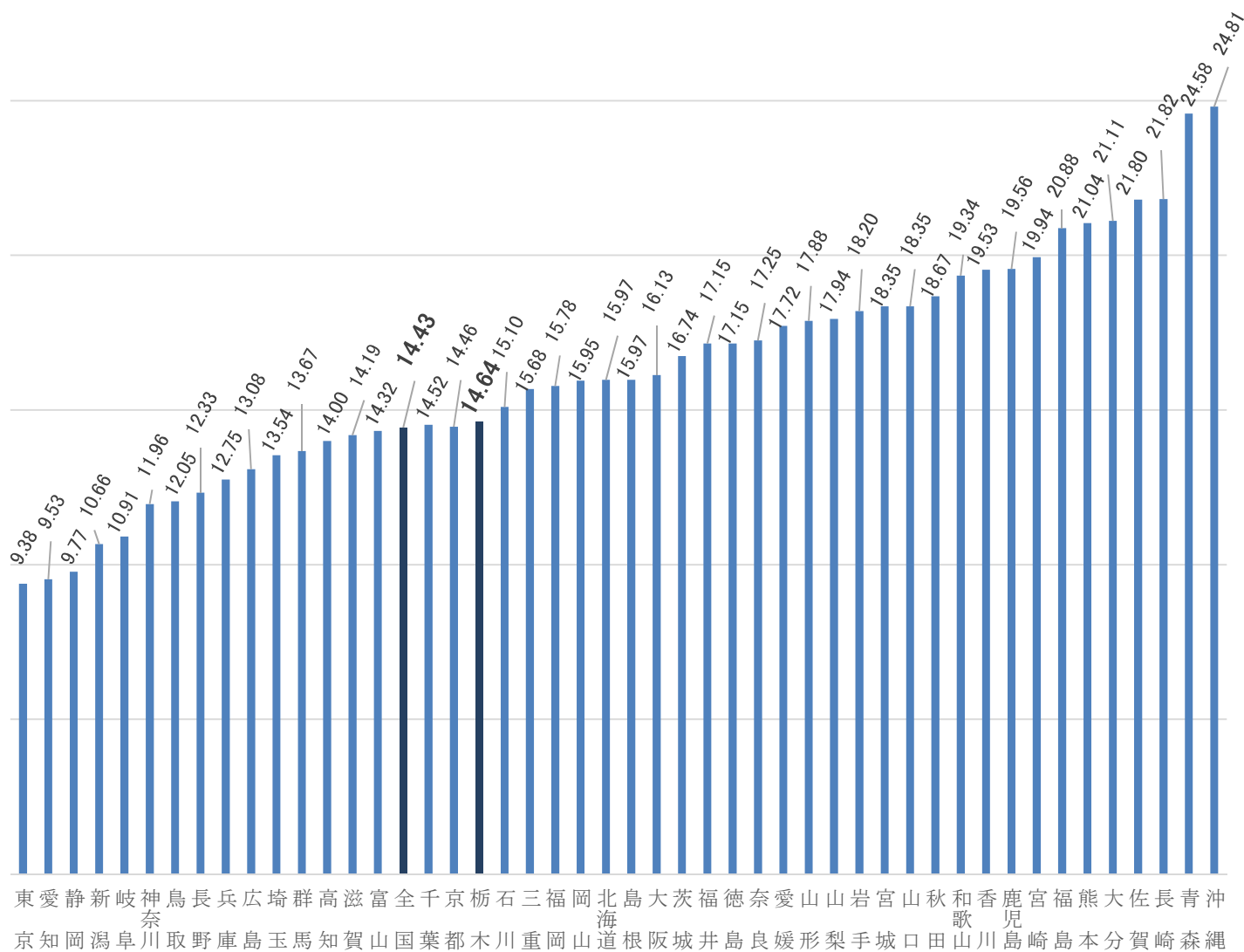


図8 都道府県別 3歳児のむし歯有病率 (平成29年度)

(%)

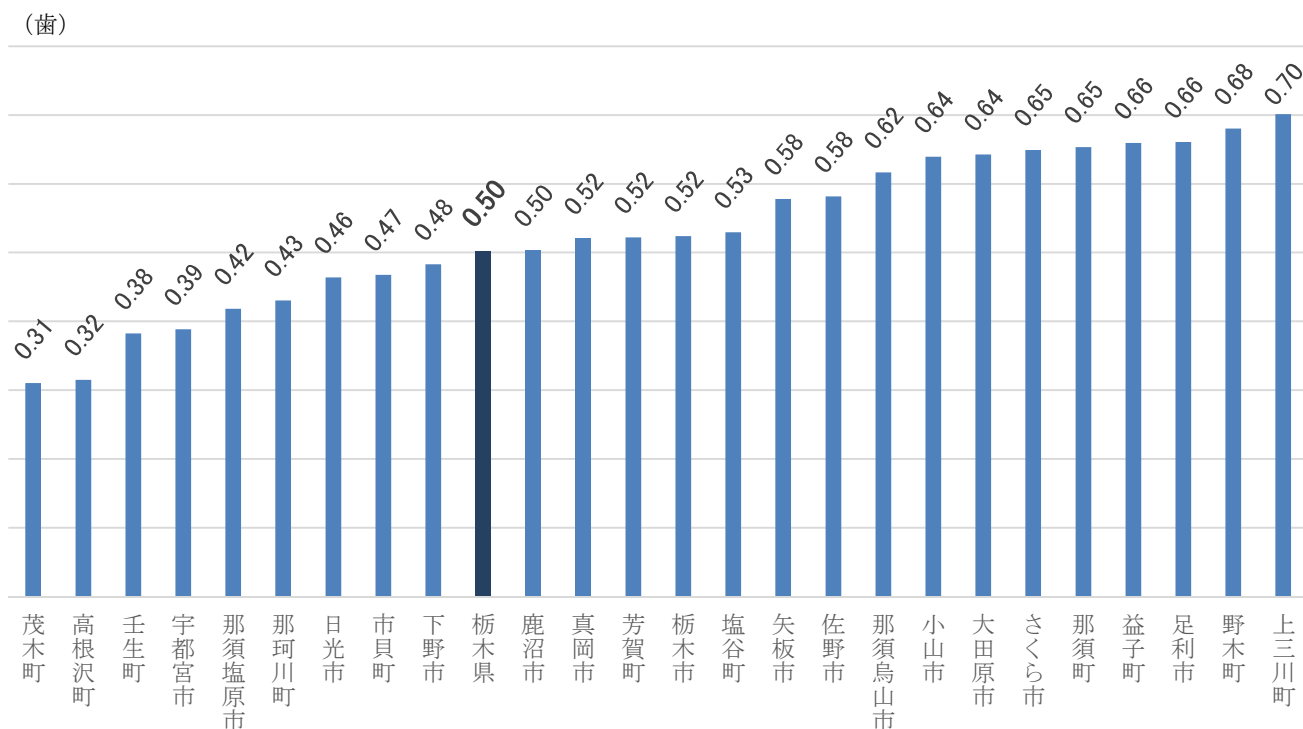


(厚生労働省「平成29年度 地域保健・健康増進事業報告」)

(3) 一人平均むし歯数

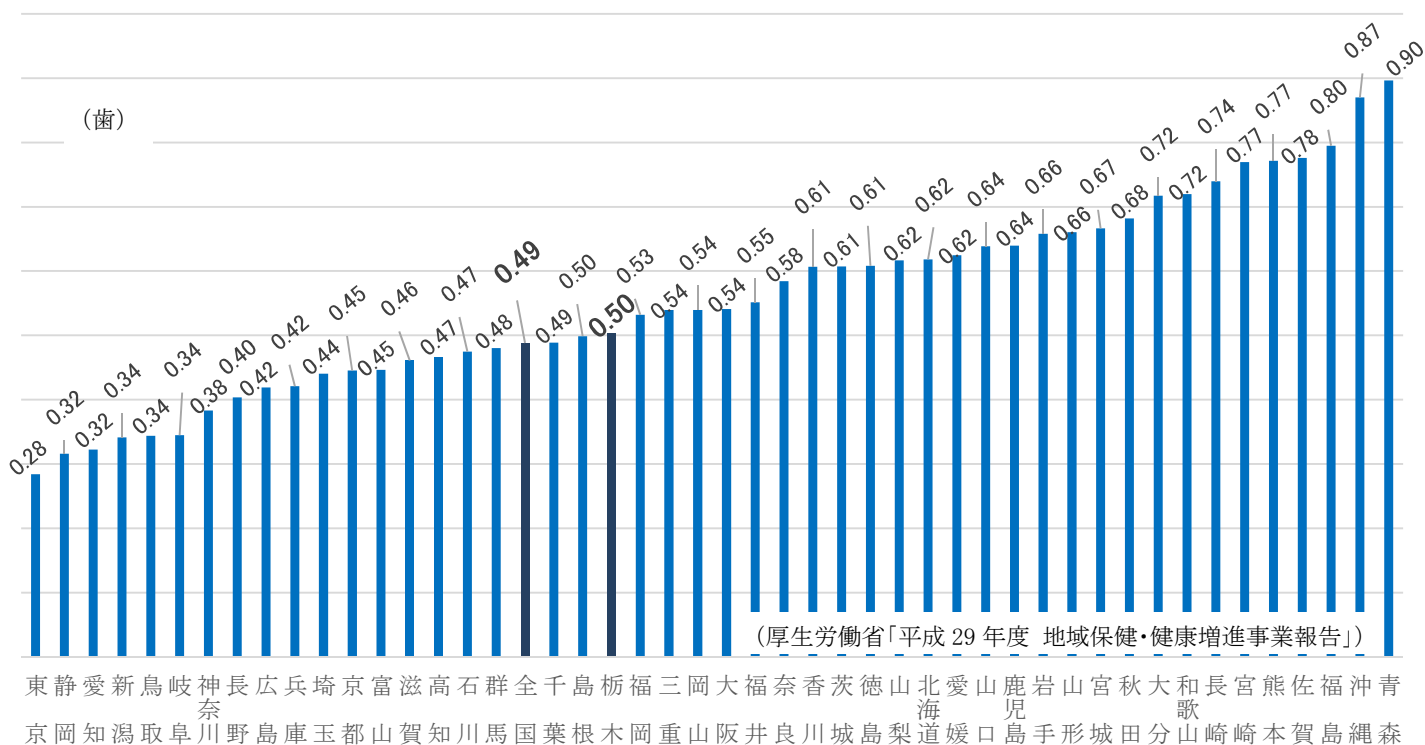
平成29年度における一人平均むし歯数は県平均が0.50歯であり、最も多かったのは上三川町で0.70歯、最も少なかったのは茂木町で0.31歯でした。(図9)

図9 県内における3歳児の一人平均むし歯数 (平成29年度)



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

図10 都道府県別 3歳児の一人平均むし歯数 (平成29年度)



3 園児・児童・生徒

統計法に基づき、幼児、児童及び生徒の発育や健康の状態を明らかにするために、毎年文部科学省が指定する学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校等）に在籍する満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒を対象に「学校保健統計調査」が行われていますが、その結果は次のとおりです。

(1) むし歯有病率の推移

ア 園児（幼稚園児）

幼稚園児（5歳児）におけるむし歯有病率については、平成30年度は38.3%であり、過去10年間を通して減少傾向が続いており、全国平均を下回る年もあります。（表3）（図11）

※ 平成26年度は、調査対象が僅少で統計値として適当な数値が得られなかった等の理由で公表されていない。

表3 幼稚園児(5歳児)のむし歯有病率の推移

(単位：%)

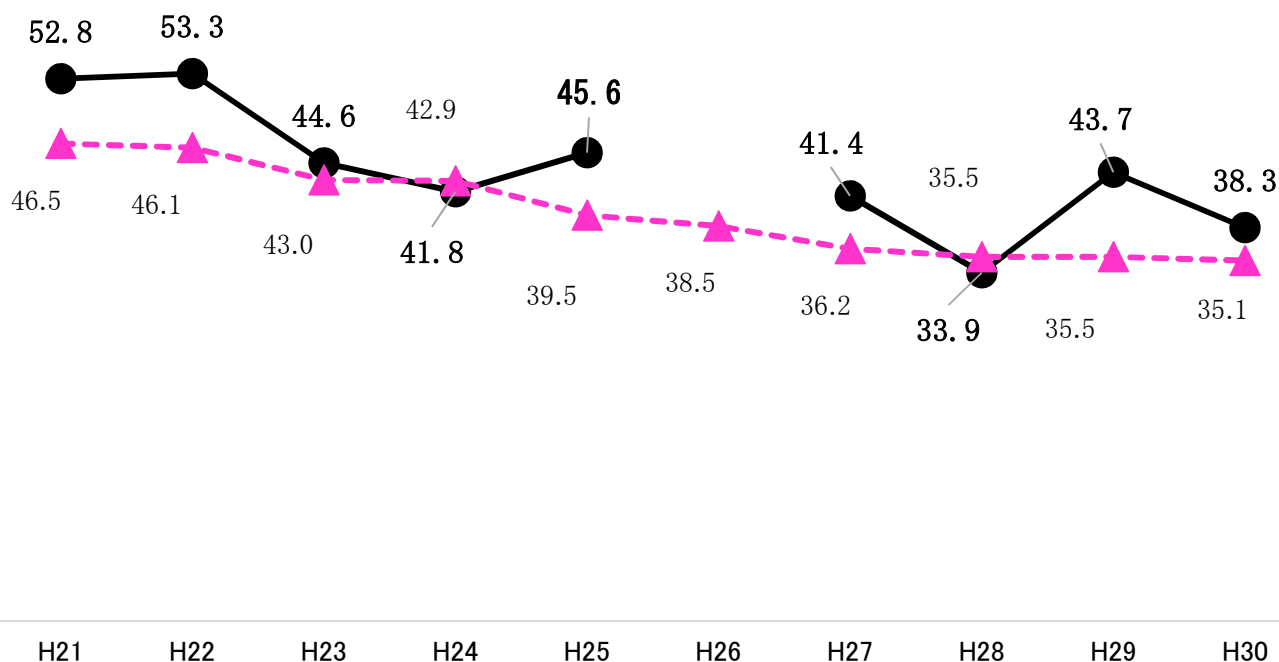
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
処置完了者	20.7	17.7	16.2	16.1	18.2	X	15.7	10.1	13.8	14.2
未処置歯のある者	32.2	35.6	28.3	25.8	27.4	X	25.6	23.9	29.9	24.1
合計	52.8	53.3	44.6	41.8	45.6	X	41.4	33.9	43.7	38.3

(注) 四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

[出典：文部科学省「学校保健統計調査」]

図11 幼稚園児(5歳児)のむし歯の有病率の推移

(%)



● 栃木県 ▲ 全国

イ 小学生

小学生のむし歯有病率については、平成 21 年度から平成 25 年度までは 60% 台で推移していましたが、平成 26 年度からは 50% 台に転じ、平成 30 年度は 49.9% まで減少しました。(表 4)

平成 30 年度の全国平均は 45.3% であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。(図 12)

表 4 小学生のむし歯有病率の推移

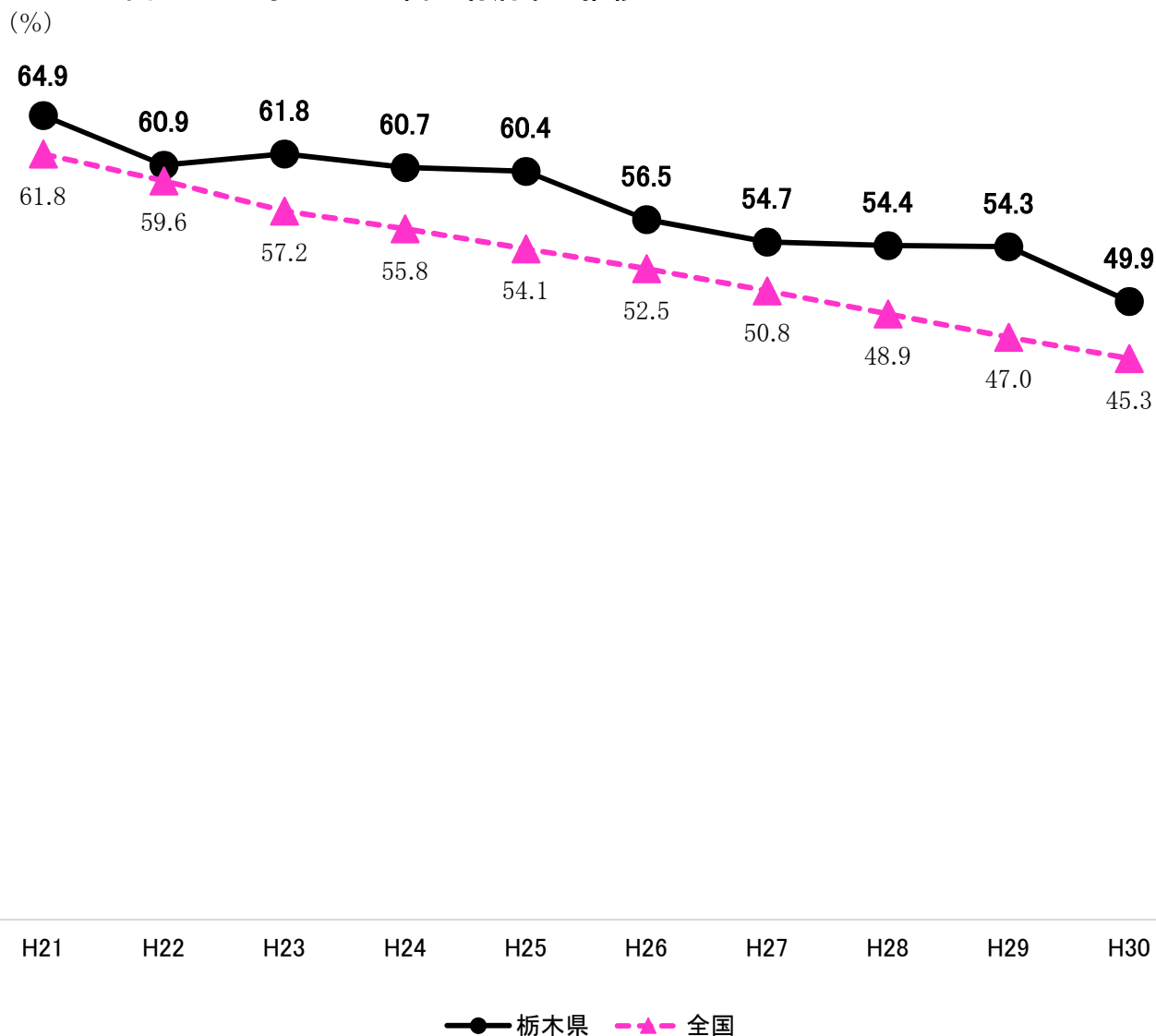
(単位：%)

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
処 置 完 了 者	29.0	26.7	28.7	26.0	27.1	26.6	24.2	25.6	24.5	21.1
未処置歯のある者	35.9	34.2	33.1	34.7	33.3	29.9	30.5	28.8	29.8	28.7
合 計	64.9	60.9	61.8	60.7	60.4	56.5	54.7	54.4	54.3	49.9

(注) 四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

[出典:文部科学省「学校保健統計調査」]

図 12 小学生のむし歯の有病率の推移



ウ 中学生

中学生のむし歯有病率については、平成 21 年度から平成 25 年度までは 50% 台で推移していましたが、平成 26 年度からは 40% 台に転じ、平成 30 年度は 41.6% まで減少しました。(表 5)

平成 30 年度の全国平均は 35.4% であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。(図 13)

表5 中学生のむし歯有病率の推移

(単位：%)

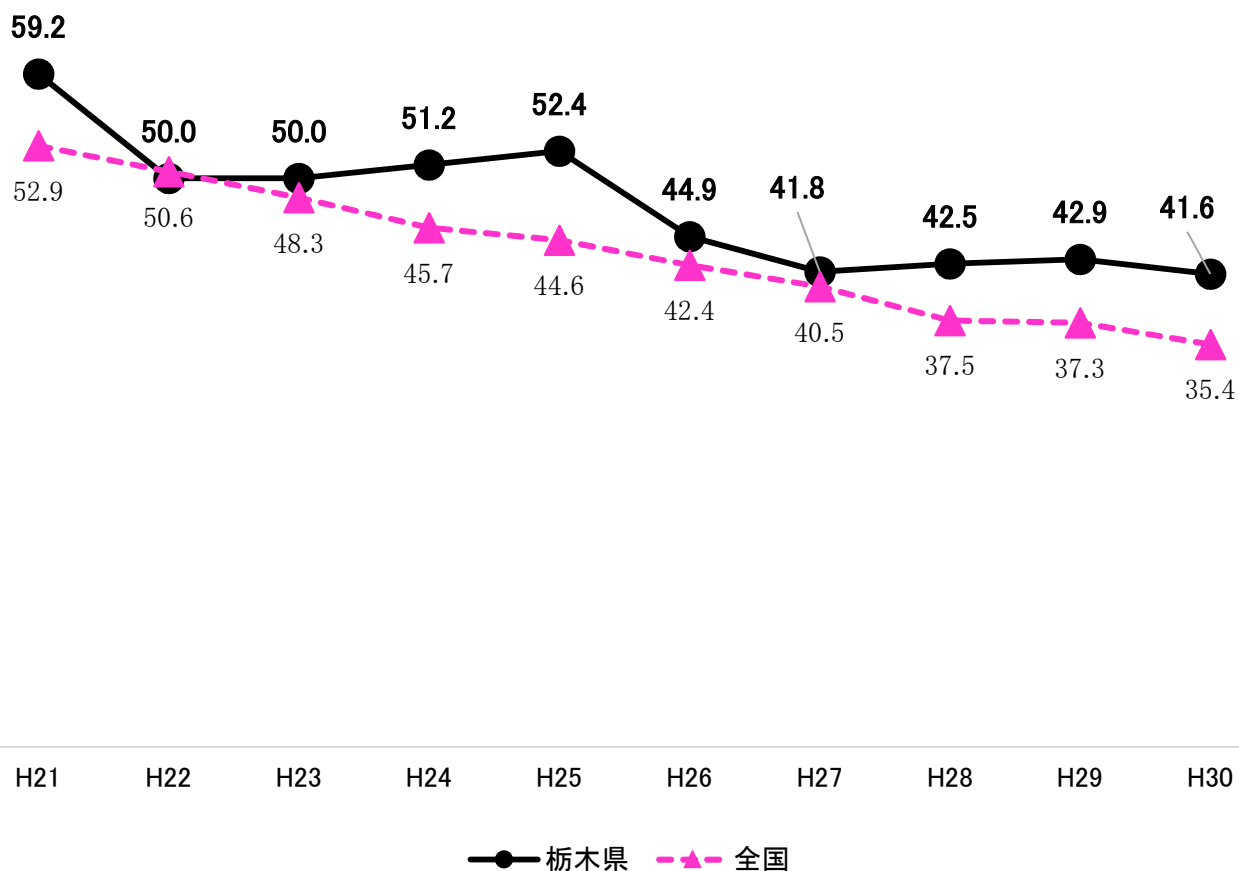
年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
処置完了者	34.4	29.6	28.3	30.3	28.4	25.3	24.9	24.6	24.2	23.9
未処置歯のある者	24.8	20.4	21.7	20.8	24.0	19.6	16.9	17.8	18.7	17.7
合 計	59.2	50.0	50.0	51.2	52.4	44.9	41.8	42.5	42.9	41.6

(注) 四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

[出典: 文部科学省「学校保健統計調査」]

図 13 中学生のむし歯の有病率の推移

(%)



工 高校生

平成 21 年度から平成 25 年度までは 60% 台で推移していましたが、平成 26 年度からは 50% 台に転じ、平成 30 年度は 46.0% まで減少しました。(表 6)

平成 30 年度の全国平均は 45.4% であり、本県の有病率は全国平均より高くなっています。(図 14)

表 6 高校生におけるむし歯有病率の推移

(単位：%)

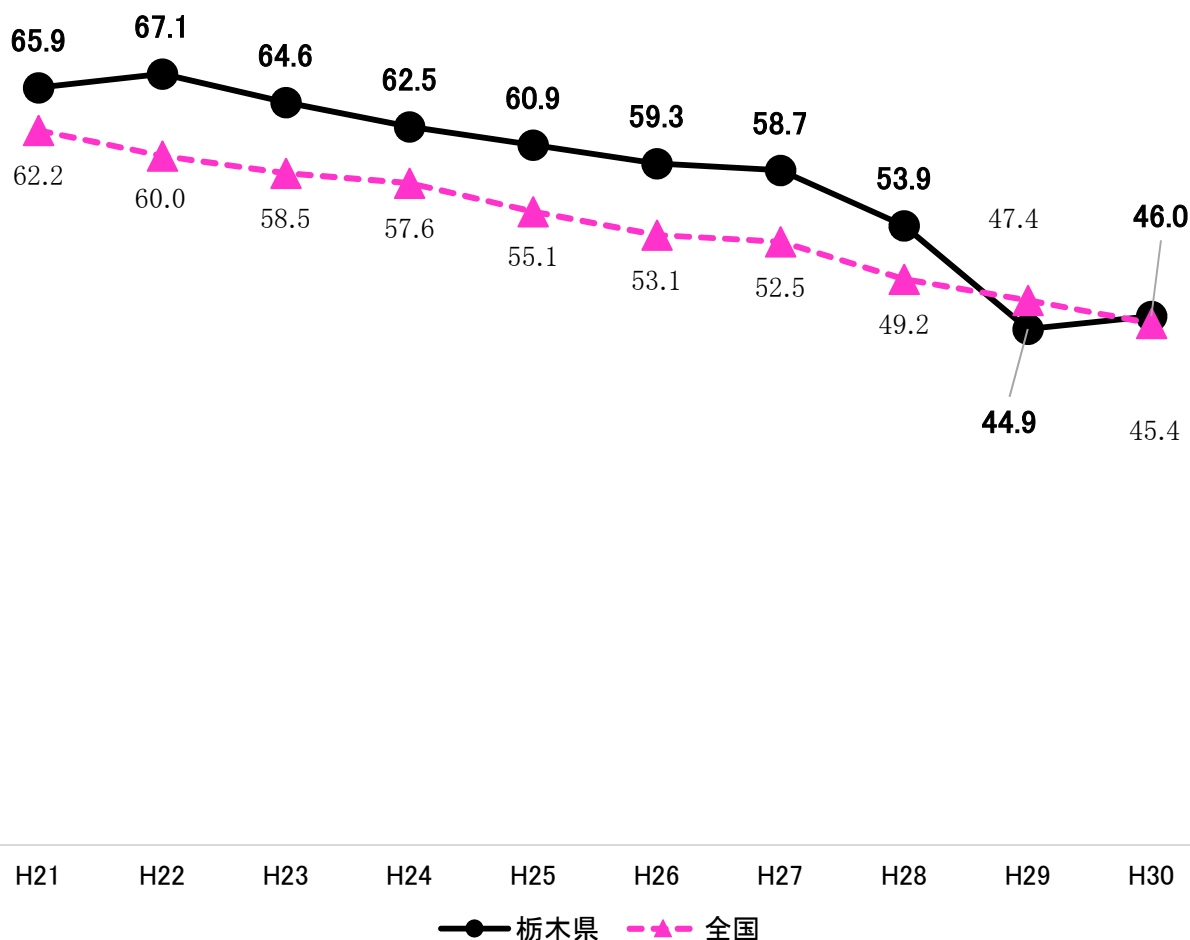
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
処置完了者	37.4	39.6	36.5	35.5	32.9	36.8	33.9	30.6	26.8	27.7
未処置歯のある者	28.5	27.5	28.1	27.2	28.0	22.6	24.9	23.2	18.1	18.2
合計	65.9	67.1	64.6	62.5	60.9	59.3	58.7	53.9	44.9	46.0

(注) 四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

[出典：文部科学省「学校保健統計調査」]

図 14 高校生におけるむし歯の有病率の推移

(%)



(2) 12歳の永久歯の一人平均むし歯等数

12歳の一人平均むし歯等数は、永久歯が生えそろった直後の指数となるため、国際的な判断基準（WHO：世界保健機構）となっています。

12歳の永久歯の一人平均むし歯数については、平成30年度には1.0歯まで減少しましたが、全国平均の0.7歯より多い状態が続いています。（表7、図15）

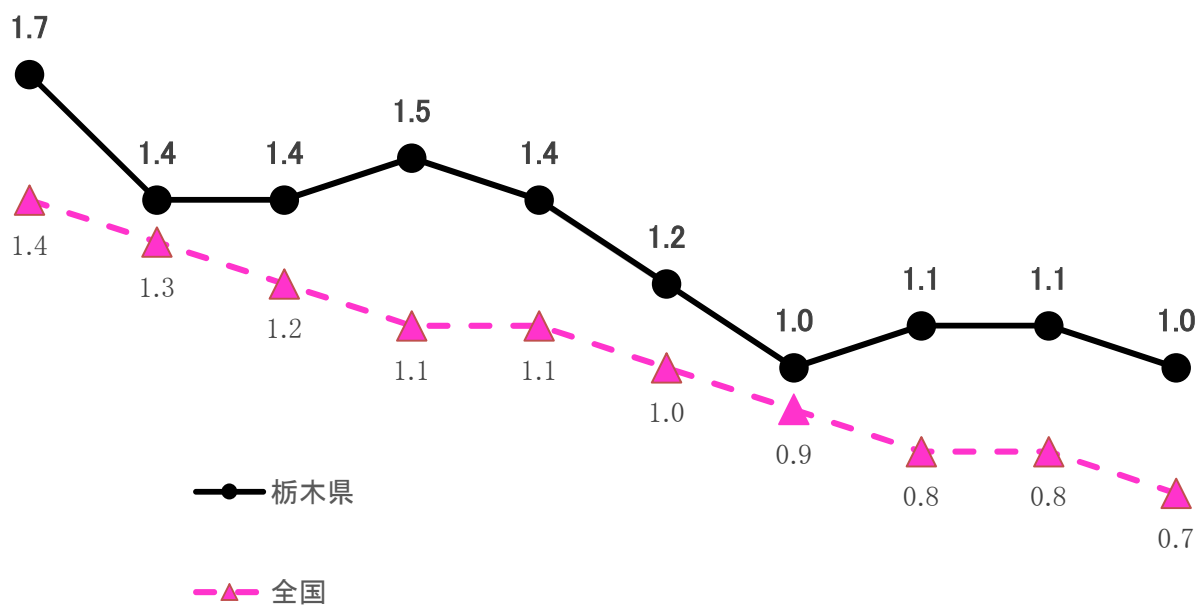
表7 12歳の永久歯の一人平均むし歯数及び喪失歯数（平成30年度）
（単位：歯）

区分	計	喪失歯数	むし歯		
			計	処置歯数	未処置歯数
計	1.0	0.0	1.0	0.6	0.3
男	0.9	0.0	0.9	0.6	0.3
女	1.1	0.0	1.0	0.7	0.3

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図15 12歳の永久歯の一人平均むし歯等数の推移

（歯）



4 成人・高齢者

(1) 歯周病検診実施状況

市町が健康増進法(平成14年法律第103号)に基づき実施した40歳、50歳、60歳及び70歳の住民を対象とした歯周病検診の結果は次のとおりです。

ア 実施状況

平成30年度、歯周病検診は全市町で実施されました。実施市町の対象人口は89,060人で、受診者数は6,251人、受診率は7.0%でした。(平成29年度受診率は6.8%)

イ 平成30年度市町別歯周病検診実施状況(表8)

(単位:人)

市町名	40歳						50歳						60歳			
	対象者数	受診者数	受診率	要精検者	要指導者	異常認めず	対象者数	受診者数	受診率	要精検者	要指導者	異常認めず	対象者数	受診者数	受診率	
宇都宮市	2,353	352	15.0%	235	80	37	1,616	195	12.1%	146	34	15	2,992	191	6.4%	
県西	鹿沼市	1,255	73	5.8%	45	17	11	1,311	73	5.6%	48	18	7	1,315	111	8.4%
	日光市	889	31	3.5%	11	20	0	1,107	38	3.4%	18	18	2	1,185	47	4.0%
県東	真岡市	1,074	104	9.7%	88	5	11	1,040	117	11.3%	103	3	11	1,059	132	12.5%
	益子町	286	12	4.2%	5	6	1	278	10	3.6%	4	3	3	368	30	8.2%
	茂木町	134	8	6.0%	3	5	0	140	12	8.6%	7	4	1	217	24	11.1%
	市貝町	134	5	3.7%	4	0	1	145	7	4.8%	6	1	0	207	9	4.3%
	芳賀町	193	1	0.5%	0	1	0	214	4	1.9%	3	1	0	195	3	1.5%
県南	栃木市	1,979	136	6.9%	115	14	7	2,092	125	6.0%	101	19	5	2,229	190	8.5%
	小山市	615	43	7.0%	22	16	5	463	40	8.6%	24	13	3	1,025	46	4.5%
	下野市	744	15	2.0%	7	6	2	824	38	4.6%	16	17	5	805	21	2.6%
	上三川町	433	21	4.8%	11	4	6	428	20	4.7%	12	4	4	499	21	4.2%
	壬生町	499	36	7.2%	27	4	5	530	23	4.3%	13	5	5	520	42	8.1%
	野木町	331	8	2.4%	5	2	1	284	5	1.8%	5	0	0	400	13	3.3%
県北	大田原市	929	34	3.7%	26	3	5	837	42	5.0%	34	1	7	1,063	61	5.7%
	矢板市	389	4	1.0%	2	2	0	446	7	1.6%	1	5	1	471	10	2.1%
	那須塩原市	1,633	81	5.0%	32	39	10	1,684	86	5.1%	40	32	14	1,421	93	6.5%
	さくら市	678	65	9.6%	27	34	4	554	44	7.9%	14	25	5	502	58	11.6%
	那須烏山市	287	5	1.7%	2	2	1	306	6	2.0%	3	3	0	400	10	2.5%
	塩谷町	142	0	0.0%	0	0	0	126	1	0.8%	1	0	0	176	3	1.7%
	高根沢町	378	9	2.4%	3	5	1	396	9	2.3%	6	2	1	352	11	3.1%
	那須町	293	15	5.1%	5	8	2	320	19	5.9%	10	6	3	415	34	8.2%
	那珂川町	181	12	6.6%	11	1	0	199	7	3.5%	6	0	1	256	10	3.9%
安足	足利市	1,865	45	2.4%	29	12	4	2,182	50	2.3%	31	8	11	1,800	64	3.6%
	佐野市	1,552	43	2.8%	25	16	2	1,717	53	3.1%	35	13	5	1,591	62	3.9%
計	19,246	1,158	6.0%	740	302	116	19,239	1,031	5.4%	687	235	109	21,463	1,296	6.0%	

(単位:人)

			70歳						合 計						市 町 名
要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率	要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率	要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	
144	36	11	4,502	550	12.2%	415	81	54	11,463	1,288	11.2%	940	231	117	宇 都 宮 市
76	24	11	1,652	198	12.0%	141	38	19	5,533	455	8.2%	310	97	48	鹿 沼 市
24	23	0	1,666	76	4.6%	45	30	1	4,847	192	4.0%	98	91	3	日 光 市
123	6	3	1,362	305	22.4%	265	13	27	4,535	658	14.5%	579	27	52	真 岡 市
20	7	3	417	38	9.1%	18	15	5	1,349	90	6.7%	47	31	12	益 子 町
14	5	5	278	20	7.2%	13	2	5	769	64	8.3%	37	16	11	茂 木 町
7	2	0	189	9	4.8%	9	0	0	675	30	4.4%	26	3	1	市 貝 町
2	1	0	301	7	2.3%	6	0	1	903	15	1.7%	11	3	1	芳 賀 町
164	18	8	3,024	308	10.2%	266	28	14	9,324	759	8.1%	646	79	34	栃 木 市
31	10	5	1,447	233	16.1%	154	53	26	3,550	362	10.2%	231	92	39	小 山 市
10	9	2	896	9	1.0%	7	2	0	3,269	83	2.5%	40	34	9	下 野 市
9	7	5	415	33	8.0%	27	3	3	1,775	95	5.4%	59	18	18	上 三 川 町
33	4	5	695	80	11.5%	42	28	10	2,244	181	8.1%	115	41	25	壬 生 町
12	0	1	520	44	8.5%	39	3	2	1,535	70	4.6%	61	5	4	野 木 町
55	2	4	1,206	105	8.7%	84	6	15	4,035	242	6.0%	199	12	31	大 田 原 市
3	7	0	628	16	2.5%	5	7	4	1,934	37	1.9%	11	21	5	矢 板 市
48	23	22	1,980	246	12.4%	119	91	36	6,718	506	7.5%	239	185	82	那 須 塩 原 市
21	30	7	680	79	11.6%	23	48	8	2,414	246	10.2%	85	137	24	さ く ら 市
8	2	0	589	13	2.2%	6	6	1	1,582	34	2.1%	19	13	2	那 須 烏 山 市
0	2	1	255	3	1.2%	2	1	0	699	7	1.0%	3	3	1	塩 谷 町
6	4	1	441	9	2.0%	5	3	1	1,567	38	2.4%	20	14	4	高 根 沢 町
22	10	2	563	64	11.4%	37	18	9	1,591	132	8.3%	74	42	16	那 須 町
10	0	0	353	29	8.2%	25	0	4	989	58	5.9%	52	1	5	那 珂 川 町
42	11	11	2,764	178	6.4%	139	23	16	8,611	337	3.9%	241	54	42	足 利 市
38	20	4	2,289	114	5.0%	87	20	7	7,149	272	3.8%	185	69	18	佐 野 市
922	263	111	29,112	2,766	9.5%	1,979	519	268	89,060	6,251	7.0%	4,328	1,319	604	計

(2) 6024 及び 8020 達成者

平成 28 年度県民健康・栄養調査では、60 歳で 24 歯以上自分の歯を有する者（6024 達成者）の割合は 52.2%、80 歳で 20 歯以上自分の歯を有する者（8020 達成者）は 34.8%となっています。

前回調査（平成 21 年度）と比べて、6024 達成者はほぼ横ばいですが、8020 達成者は 10.9%増加しました。（表 9）

表 9 60 歳で 24 歯以上、80 歳で 20 歯以上の歯を有する者の割合

（単位：％）

区 分	60 歳(55-64 歳)で 24 歯以上			80 歳(75-84 歳)で 20 歯以上		
	H15	H21	H28	H15	H21	H28
達成率	42.1	52.7	52.2	18.85	23.9	34.8

※ 栃木県保健福祉部健康増進課「平成 28 年度県民健康・栄養調査」

(3) 在宅歯科医療の推進

在宅等の療養に関して歯科医療面から支援できる体制等を確保し、訪問歯科診療を行う歯科診療所を「在宅療養支援歯科診療所」といいます。国が定める施設基準を満たし、関東信越厚生局に届出を行っている県内の歯科診療所の数は年々増加しています。（表 10）

表 10 県内の在宅療養支援歯科診療所の届出状況

年 度	H26 (2014)	H29 (2017)	H30(2018)	目標値 (2022)
在宅療養支援歯科診療所の施設数	32 施設	58 施設	66 施設	80 施設

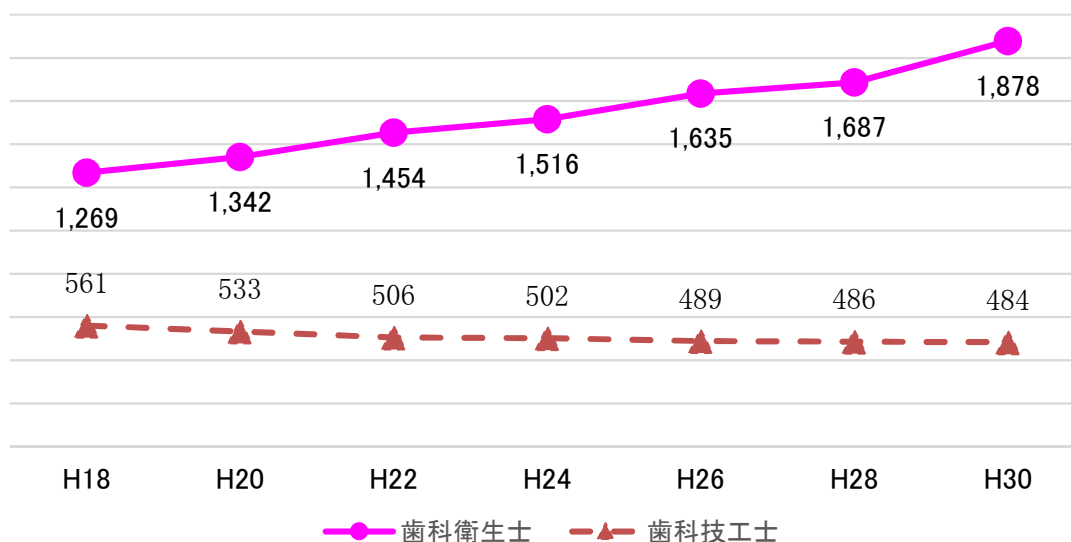
(4) 歯科衛生士及び歯科技工士の就業者数の推移

歯科衛生士の就業者数は増加していますが、全国的に不足している状況にあり、県内においても歯科衛生士がいない歯科診療所も多くあります。また、歯科技工士については、若年者の離職による担い手不足や高齢化などにより、就業者数が年々減少しています。（図 16）

図 16 栃木県内の歯科衛生士及び歯科技工士の就業者数の推移

（厚生労働省「衛生行政報告例」）

単位：人



Ⅲ 平成30年度歯科保健医療事業体系

歯及び口腔の健康づくりを推進するため、県、市町等が実施した事業は次のとおりです。

区分 (栃木県歯科保健基本計画 施策体系毎)	事業名	IV (参 照) した 施策	ライフステージ等					実施主体		
			乳 幼 児	学 小 学 高 校 生	成 人	高 齢 者	介 護 者 ・ 要 者	県	教育 委員会 市 町	関係 機関
1 歯や口腔 と関係する病 気等の予防の 推進	栃木県口腔保健支援センター事業	1-(1)								
	県政出前講座	①	○	○	○	○		○		
	各種広報媒体を活用した広報活動	②	○	○	○	○		○		○
	障害者及び高齢者の歯科口腔保健の推進	③				○	○	○		○
	市町の歯科保健事業への支援 (フッ化物洗口実施支援事業)	④		○	○			○		○
	各種表彰制度による歯科保健活動の推進	1-(2)								
	栃木県歯科保健賞	①	○	○	○	○		○	○	○
	よい歯のコンクール(親と子・三歳児)	②	○					○		○
	よい歯の優良学校コンクール	③		○				○	○	○
	よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール	④		○				○	○	○
	とちぎ歯の健康センター事業	1-(3)								
	健康相談	①	○	○	○	○		○		○
	普及啓発	②	○	○	○	○		○		○
	フッ化物洗口実施に係る技術的支援	③		○				○		
歯と口の健康週間事業	④	○	○	○	○		○	○	○	
2 歯や口腔 の健康に関する啓発と検診 の普及	へき地巡回歯科診療	2-(1)	○	○	○	○		○		○
	永久歯等対策事業(保育所・幼稚園・障害児通所施設等)	2-(2)	○				○	○		○
	妊産婦歯科健康診査、相談指導		○		○				○	
	乳幼児の歯科保健に関する相談指導		○						○	
	1歳6か月児歯科健康診査、相談指導		○						○	
	2歳児歯科健康診査、相談指導		○						○	
	3歳児歯科健康診査、相談指導		○						○	
	学校歯科検診等			○					○	○
	歯周病検診(40・50・60・70歳) ※健康増進法に基づく事業					○	○			○
	歯周病検診 ※健康増進事業外					○				○
	歯科健康相談、健康教室(65歳未満の成人)					○				○
口腔機能の維持向上に関する事業(介護予防事業等)						○			○	
歯科疾患実態調査(5年毎)		○	○	○	○		○		○	
3 障害児者・ 要介護者への 歯科保健医療 サービスの確 保	障害者歯科診療事業	3-(1)					○	○		○
	障害者歯科医療システムの運用	3-(2)					○	○		○
	障害者高次歯科医療提供体制整備事業	3-(2)					○	○		○
	永久歯等対策事業(再掲)		○				○	○		○
	福祉施設巡回歯科相談・指導事業【一部新規】	3-(3)					○	○		○
	在宅歯科診療連携推進事業	3-(4)					○	○		○
	在宅歯科医療従事者研修事業	3-(4)					○	○		○
多職種連携による栄養指導・口腔機能向上事業	3-(5)				○	○	○		○	
4 歯科保健 医療提供体制 の整備	歯科衛生士再就職支援事業	4-(1)						○		○
	歯科保健指導者・医療従事者研修事業	4-(2)	○	○	○	○	○	○		○
	医科歯科連携推進事業	4-(3)	○	○	○	○	○	○		○
	とちぎ歯の健康センター整備事業	4-(4)					○	○		
	歯科保健推進協力交付金	4-(5)	○	○	○	○	○	○		
	栃木県歯科保健推進協議会	4-(6)	○	○	○	○	○	○		
	8020運動推進協議会	4-(6)				○	○	○		
	とちぎ歯の健康センター運営等協議会	4-(6)	○	○	○	○	○	○		

IV 平成 30(2018)年度に講じた施策

1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進

歯や口腔の病気の予防は、全身の健康づくりや疾病等の予防の観点からも重要であることから、歯や口腔の病気の予防等の各施策を効果的に進めるため、情報収集や提供、普及啓発などに関する事業を実施しました。

(1) 栃木県口腔保健支援センター事業

県民の口腔機能の維持向上を目指して、平成 28 年 4 月、健康増進課内に「栃木県口腔保健支援センター」を開設し、市町や関係機関等と連携しながら歯科保健対策の企画立案や助言指導などを行っています。

〔人員体制〕 ・センター長：健康増進課長

・センター職員：歯科医師（1名）、歯科衛生士（1名）

① 県政出前講座

県民からの要望に応じて、県政出前講座を行いました。

実施時期	対象施設・団体等	参加者数
6 月	高齢者向け講座 (下野市南河内東公民館)	27 名
9 月	自治会厚生部の活動 (鹿沼市みなみ町集会所)	20 名

② 各種広報媒体を活用した広報活動

テレビやラジオ等の広報媒体を活用し、広く県民に普及啓発を行いました。

実施時期	媒体等	番組テーマ・広報紙配布先
6 月	・とちぎテレビ／県政ひとくちメモ ・CRT栃木放送／県政ナビ	歯と口腔の健康づくり
3 月	・フッ化物応用に関する啓発リーフレット ・オーラルフレイル予防に関する啓発リーフレット 各1万部作成	市町及び小学校に配布

③ 障害者及び高齢者の歯科口腔保健の推進

- ・入所者の口腔ケアについて先進的な取組を行う特別養護老人ホーム(1施設)をセンター職員が訪問し、聴き取り調査を行いました。
- ・平成 30 年度から新たに福祉施設への訪問による口腔ケア研修(P24参照)を始めたことから、事業の実施状況の把握や職員との意見交換を行いました。
〔平成 30 年度実績〕 障害者支援施設(1施設)、特別養護老人ホーム(3施設)
- ・障害福祉サービス事業者や介護サービス事業者向けの説明会において、利用者の口腔衛生管理に関する講話や県の関連事業の紹介を行いました。

④ 全国歯科保健大会及び研修会の開催

- ・第 26 回全国歯科保健推進研修会
全国都道府県及び県内市町の歯科保健行政職員等を対象に、栃木県歯科医師会との共催で開催しました。
実施日：平成 30 年 11 月 16 日 / 会場：栃木県庁 / 参加人数：115 人
- ・第 39 回全国歯科保健大会
健康長寿社会の実現に向けた歯科の役割や取組について討議して全国に発信するため、厚生労働省、宇都宮市、日本歯科医師会、栃木県歯科医師会との共催で開催しました。

実施日：平成30年11月17日 / 会場：宇都宮市文化会館 / 参加人数：約1,500人

④ 市町の歯科保健事業への支援

小学校で、フッ化物洗口を実施する市町に対して、事業費の助成を行いました。

市町名	小学校数	実施人数
大田原市	21校	3,571人
高根沢町	6校	1,434人
佐野市	26校	5,530人
那須塩原市	21校	6,098人
那須町	7校	893人
栃木市	6校	826人
6市町	87校	18,352人

(参考) 平成29年度：5市町、81校、17,796人

(2) 各種表彰制度による歯科保健活動の推進

歯科保健活動の優良事例を表彰することにより、さらなる歯科保健活動を推進しました。

① 栃木県歯科保健賞

栃木県歯科保健賞は、昭和52年に栃木県歯科医師会が第29回保健文化賞を受賞したことを記念して創設されたものです。県内における歯科保健衛生の分野で、優れた業績を挙げた団体及び個人の功績に対して、顕彰を行っています。

② 親と子のよい歯のコンクール・三歳児よい歯のコンクール

親と子の口腔衛生の向上及び普及啓発を図るため、3歳児健診を受診した幼児及びその親を対象に、コンクールを実施しました。なお、平成30年度においては、中央審査に推薦した親子（県コンクールの最優秀）が優秀者に選ばれ、11月に宇都宮市で開催された全国歯科保健大会で表彰されました。

審査結果

コンクール名	審査				審査結果(第3次)		
	第1次	第2次	第3次	中央	最優秀	優秀	優良
親と子	63組	33組	12組	1組	1組	3組	8組
三歳児	322人	93人	10人		1人	3人	6人

(参考) 平成29年度応募者数：親と子 48組、三歳児 313人

③ よい歯の優良学校コンクール

児童生徒の歯科保健の向上発展を図るため、栃木県教育委員会・栃木県歯科医師会との三者共催でコンクールを行い、定期健診の結果（むし歯数・処置歯率等）や学校歯科保健活動の状況などを総合的に審査し、優良学校を表彰しました。

審査結果

区分	参加校	栃木県 知事賞	栃木県議会 議長賞	栃木県 教育長賞	栃木県医師 会長賞	栃木県歯科 医師会長賞	入選
小学校	194校	1校	2校	3校	3校	9校	50校
中学校	75校	1校	2校	3校	3校	9校	20校

(参考) 平成 29 年度参加数： 小学校 195 校、中学校 75 校

区分	小学校の部	中学校の部
栃木県知事賞	栃木市立西方小学校	那須町立那須中学校
栃木県議会議長賞	宇都宮市立今泉小学校	栃木市立西方中学校
	宇都宮市立陽南小学校	宇都宮市立鬼怒中学校
栃木県教育長賞	下野市立緑小学校	宇都宮市立清原中学校
	高根沢町立阿久津小学校	大田原市立湯津上中学校
	宇都宮市立御幸が原小学校	日光市立小林中学校
栃木県医師会長賞	宇都宮市立城山西小学校	那須塩原市立塩原小中学校
	日光市立今市小学校	日光市立東原中学校
	日光市立今市第二小学校	県立矢板東高等学校附属中学校
栃木県歯科医師会長賞	上記 9校	上記 9校

④ よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール

歯と口の健康週間事業の一環として、小中学校の児童から歯科保健に関する図画・ポスター、作文、標語を募集し、優れた作品を表彰しました。なお、平成 30 年度においては、県コンクールで特選に選ばれた標語「いつまでも 続くけんこう 歯の力」が、「平成 30 年度歯と口の健康啓発標語コンクール」(日本学校歯科医会主催)で最優秀賞を受賞しました。

審査結果

区分		特選	入選
図画ポスター	小学校	2点	22点
	中学校	1点	9点
作文	小学校	2点	13点
	中学校	1点	8点
標語	小学校	2点	19点
	中学校	1点	9点

(3) とちぎ歯の健康センター事業

とちぎ歯の健康センターは、県の歯科保健対策の推進拠点として、平成6(1994)年2月に開館しました。センター1階には障害者歯科診療所、2階には図書資料室やとちぎ在宅歯科医療連携室、3階には研修室があります。(管理運営は栃木県歯科医師会に委託)

① 健康相談

とちぎ歯の健康センターにおいて、電話及び来所による歯科保健に関する相談を実施しました。

- ・受付時間：午前9時～午後4時30分

相談件数及び相談内容別内訳

内容	治療内容						予防指導	障害者等の歯科相談	その他	合計
	むし歯	歯周疾患	抜歯	補綴	矯正	その他				
件数	7件	6件	10件	35件	1件	21件	1件	4件	20件	105件

(参考) 平成29年度相談件数：121件

② 普及啓発

とちぎ歯の健康センターの「展示コーナー」、「図書資料室」における各種資料の展示及び各種広報媒体を活用し、普及啓発活動を行いました。

ア 展示コーナー、図書資料室における資料貸出し状況

	図書	ビデオ・DVD	公衆衛生教材・展示物	生涯ライブラリー	合計
貸出数	85件(237点)	43件(135点)	124件(462点)	3件(3点)	255件

(参考) 平成29年度総貸出件数：126件

イ 機関紙等発行

とちぎ歯の健康センターだより 第25号

ウ 視察研修

診療所及び展示コーナーの見学、センター事業の説明、研修、体験学習等

③ フッ化物洗口実施に係る技術的支援

市町や小中学校におけるフッ化物洗口の実施にあたり歯科専門職による技術的支援を行いました。

従事歯科医師数	市町名	実施人員
132人	足利市、佐野市、日光市、大田原市、那須塩原市、高根沢町、那須町、那珂川町	22,529人

④ 歯と口の健康週間事業

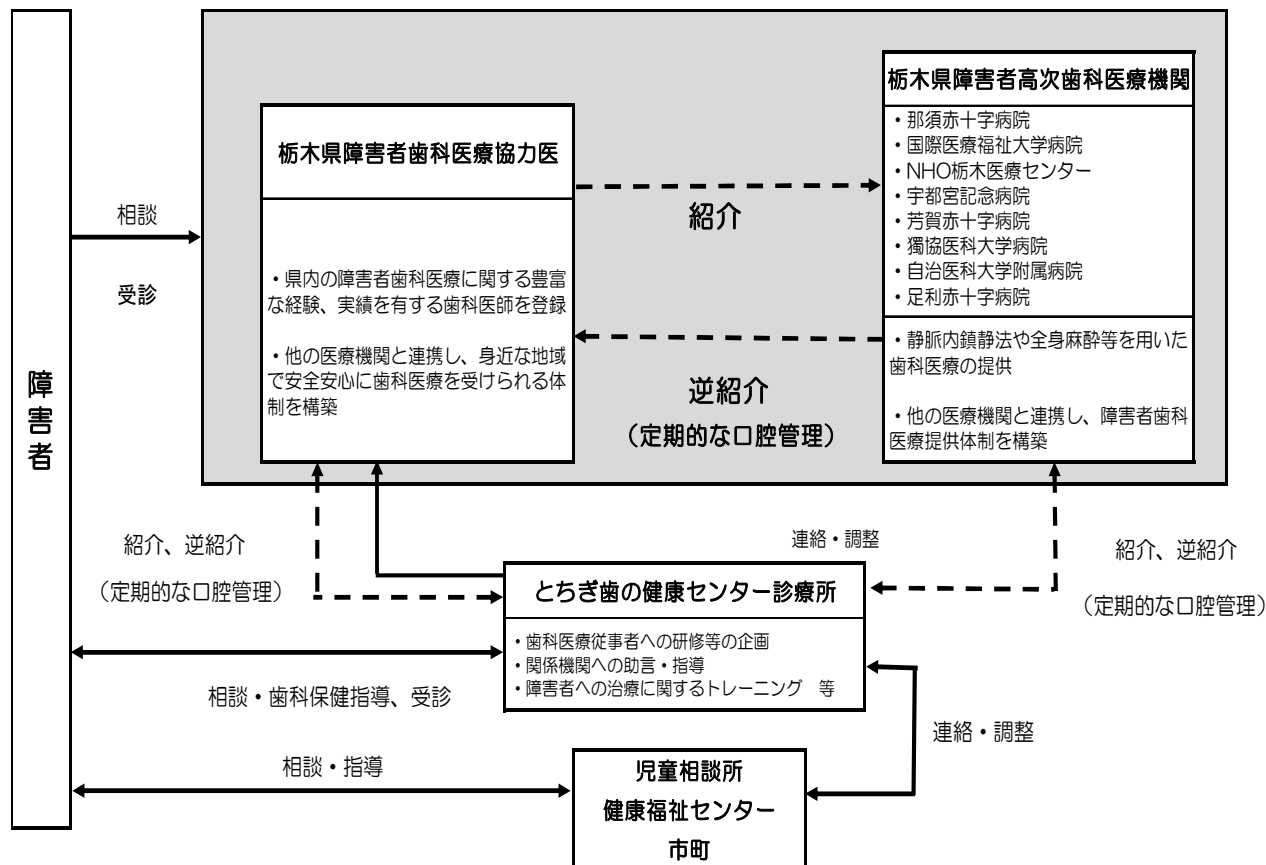
歯と口の健康週間に歯と口腔に関する正しい知識の普及を図るため、県内11ヶ所において講演会・保健指導を実施しました。

実施回数	対象者	参加者数
11回	一般県民	3,077人

(2) 栃木県障害者歯科医療システムの運用

障害者が住み慣れた身近な地域の中で歯科医療を受けられるようにするため、平成 28 年 4 月に構築した「栃木県障害者歯科医療システム」の円滑な運用を推進しています。

栃木県障害者歯科医療システム図 (H28.4~)



① 栃木県障害者歯科医療協力医の登録

障害者が住み慣れた身近な地域で適切な歯科医療を受けることができるよう、障害者歯科医療に取り組み県内の歯科医師を「障害者歯科医療協力医」として登録しています。

栃木県障害者歯科医療協力医の登録及び医療の提供状況

2次保健医療圏	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	合計
協力医登録者数	20人	27人	24人	8人	40人	25人	144人
障害者受診状況	189人	291人	237人	88人	586人	558人	1,949人

(参考) 平成 29 年度実施状況： 協力医 146 人、患者数 1,751 人

② 栃木県障害者高次歯科医療機関の指定

・高次歯科医療機関の指定状況〔平成 31(2019)年 4 月 1 日現在〕

那須赤十字病院、国際医療福祉大学病院、NHO 栃木医療センター、宇都宮記念病院、芳賀赤十字病院、獨協医科大学病院、自治医科大学附属病院、足利赤十字病院

・患者受入等状況

種別	外来新患者数	静脈内鎮静法	全身麻酔	紹介患者受入数	逆紹介患者数
実績	1,128人	551件	1,012件	404人	378人

(参考) 平成 29 年度 1,210 人 643 件 492 件 306 人 281 人

③ 障害者高次歯科医療機関による研修会の開催

障害者高次歯科医療機関において、障害者歯科医療に関する知識の普及と連携促進のため、障害者歯科医療協力医を対象に研修会を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加人数
11月29日	障がい児者への食の支援	昭和大学歯学部 スペシャルニーズ 口腔医学講座 口腔衛生学部門 教授 弘中 祥司 氏	獨協医科大学病院	歯科医師、歯科衛生士、計 58名
2月24日	①障害者歯科総論 ②歯科治療のリスクマネジメント ③障害者歯科治療の実際	宇都宮記念病院 佐々木 忠昭 氏 救急部スタッフ	宇都宮記念病院	歯科医師、歯科衛生士、歯科助手 計 25名

(参考) 平成 29 年度実施状況： 3 回、123 人

④ 障害者高次歯科医療提供体制整備事業

障害者へ静脈内鎮静法や全身麻酔法などを用いた歯科医療を提供するため、NHO 宇都宮病院の運営費に対して助成しました。

種 別	患者数	全身麻酔
実 績	84 人	50 件

(参考) 平成 29 年度実施状況： 48 人、26 件

(3) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業

障害者及び高齢者の入所施設を訪問し、入所者の歯科検診、職員対象の口腔ケア研修等を実施しました。

種 別	歯科検診		口腔ケア研修 (新規)	
	実施回数	受診者数	実施回数	受講者数
障害者支援施設・福祉型障害児入所施設	4 回	81 人	8 回	47 人
特別養護老人ホーム	11 回	214 人	12 回	130 人
合 計	15 回	295 人	20 回	177 人

(参考) 平成 29 年度実施状況： 歯科検診 41 回、1,054 人

(4) 在宅歯科医療推進事業

在宅歯科医療を推進するための各種事業を実施しました。

① 在宅歯科医療連携室

在宅歯科医療に関する相談や診療所の紹介、ポータブル歯科医療機器の貸出などを行う「在宅歯科医療連携室」の運営費に対して助成を行いました。

区 分	相談対応	機器貸出
件 数	76 件	96 件 (診療件数：3,673 件)

(参考) 平成 29 年度実施状況： 相談対応 81 件、機器貸出 76 件

② 在宅歯科医療従事者研修

実施日	内容	講師	会場	参加人数
12月16日	食べる喜びを支える歯科医療 ～診療室から在宅往診まで対応できるデンチャースペース義歯の真髓～	加藤歯科医院 院長 加藤 武彦 氏	栃木県歯科 医師会館	118人
3月3日	手を携えて“食べる”を守る ～歯科医療従事者と栄養士で出来ること～	口腔栄養サポートチーム レインボー代表 管理栄養士 渡邊 真紀子 氏		81人
合計			2回	199人

(参考) 平成 29 年度実施状況： 2回、131人

(5) 多職種連携栄養指導・口腔機能向上事業

歯と口腔機能の衰え（オーラルフレイル）の予防や栄養指導・口腔機能向上について、多職種連携による取組を促進するため、研修会を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加人数
2月24日	かかりつけ歯科医が実施する診療室を核にした在宅と摂食機能療法 ～口腔機能低下症から摂食機能障害に至る着眼点と多職種連携の手法～	日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 教授 植田 耕一郎 氏	栃木県歯科 医師会館	107人

(参考) 平成 29 年度実施状況： 2回、211人

4 歯科保健医療提供体制の整備

県民の生涯にわたる健康の保持増進を図るため、保健、医療、福祉、教育等関係者の資質向上や連携強化に取り組みました。

(1) 歯科衛生士再就職支援事業

出産・子育て等を理由に離職した歯科衛生士の再就職を支援するため、研修を行いました。

実施日	内容	講師	会場	参加人数
9月26日	口腔ケアのイロハとは	栃木県歯科衛生士会 歯科衛生士 9人	とちぎ歯の 健康センター	5人
10月31日	口腔内写真撮影法について			7人
11月28日	卓上でのスケーラー操作			3人
12月16日	口腔ケアの実際 歯科衛生士編			6人
2月17日	口腔ケア実践セミナー			4人
1月27日	歯科に役立つ薬の知識	下都賀歯科医師会 手代木 一人 氏		25人
計			6回	50人

(参考) 平成 29 年度実施状況： 5回、65人

(2) 歯科保健指導者・歯科医療従事者研修会

歯科保健指導者、歯科医療従事者を対象に教育・研修を実施しました。

実施日	内容・講師	対象者	参加人数
12月9日	<p>○「障害者歯科診療のススメ ～これからの障害者歯科に求められていること、 および先天奇形症候群について～」 日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座 教授 野本 たかと 氏</p> <p>○「私の障害者歯科診療～臨床から感じたこと～」 とちぎ歯の健康センター事業検討委員会委員長 寺内 達成 氏</p> <p>○「とちぎ歯の健康センター診療所の現状と連携について」 とちぎ歯の健康センター専任歯科医師 神谷 清 氏</p>	<p>歯科医師 歯科衛生士</p>	67人

(参考) 平成29年度実施状況：2回、128人

(3) 医科歯科連携推進事業

歯と口腔の病気は、生活習慣病の発症や進行などと深く関わっていることから、医師と歯科医師が連携（以下「医科歯科連携」という。）して患者の治療に取り組むことが求められています。

① 糖尿病診療における医科歯科連携の推進

糖尿病の人が歯周病の治療をすると血糖値が改善することがあるため、「糖尿病治療連携マニュアル」（平成28年3月作成）に基づき、糖尿病の初期・安定期治療を担う医療機関と歯科診療所との間における患者紹介や治療に関する情報共有を推進しています。

年度	H27	H28	H29
糖尿病診療における 医療機関と歯科診療 所との連携状況	20.0%	20.9%	23.2%

② がん患者の治療に関わる医科歯科連携の推進

がん治療に伴い、口腔内には様々な合併症が出現することがあり、その合併症の予防と治療（以下「周術期口腔機能管理」という。）には、医科歯科連携が重要です。栃木県立がんセンターでは、がん患者に対する周術期の口腔機能管理が円滑に行われるよう、地域の歯科診療所を対象に研修を行っています。

(4) とちぎ歯の健康センター整備事業

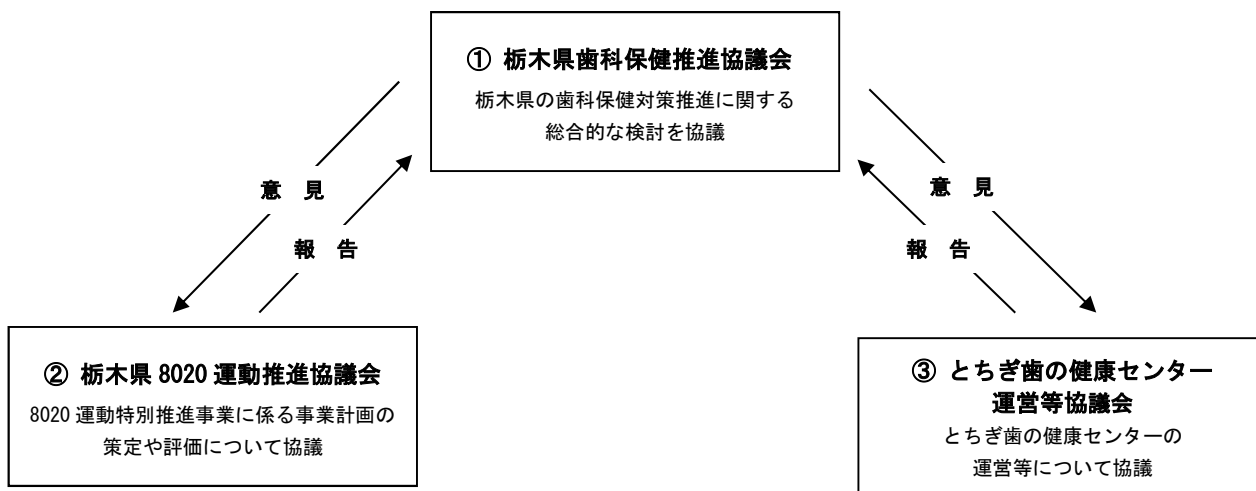
自動火災報知設備を更新することにより、センターを利用する障害者の安全確保と歯科医療の提供体制の強化・充実を図りました。

(5) 歯科保健推進協力交付金

(一社) 栃木県歯科医師会が行う歯科保健対策推進事業に対し支援を行いました。

(6) 歯科保健対策関連協議会

歯科保健対策事業の充実を図るため、3つの協議会を設置しています。



① 栃木県歯科保健推進協議会

様々な分野の専門家を協議会委員に委嘱し、総合的な歯科保健対策事業について協議しました。

- ・日 時：平成30年8月9日
- ・場 所：県庁舎会議室
- ・議 題：県民の歯及び口腔の健康状況について 他

栃木県歯科保健推進協議会委員〔任期：H28.8.22～H30.8.21（2年間）〕

No.	氏 名	所属・役職等
1	宮 下 均	栃木県歯科医師会 会長
2	川 津 博 亨	栃木県歯科医師会 副会長（地域保健）
3	佐 川 徹 三	栃木県歯科医師会 副会長（学校保健）
4	前 原 操	栃木県医師会 副会長
5	林 幸 子	栃木県歯科衛生士会 会長
6	土 屋 秋 夫	栃木県歯科技工士会 会長
7	川 田 亨	栃木県老人福祉施設協議会 理事（特別養護老人ホームかがやき）
8	飯 島 芳 子	栃木県保育協議会 副会長（宇都宮市立竹林保育園長）
9	石 河 敏 昭	栃木県町村会（茂木町保健福祉課長）
10	田 中 圭 子	栃木県市町村保健師業務研究会 副会長（高根沢町健康福祉課）
11	阿 部 龍 之	中核市（宇都宮市健康増進課長）
12	柴 山 明 憲	栃木産業保健総合支援センター 副所長
13	桑 まり子	栃木県栄養士会 会長
14	鈴 木 美 恵 子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
15	青 山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

② 栃木県 8020 運動推進協議会

歯科保健医療対策事業「8020運動推進特別事業」（国庫補助事業）の実施状況及び次年度計画について協議しました。

- ・日 時：平成31年3月14日
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター

- ・ 議 題 (1) 平成30年度8020運動推進特別事業の実施状況について
- (2) 平成31年度8020運動推進特別事業の実施計画案について

栃木県 8020 運動推進協議会委員

No.	氏 名	所属・役職等
1	大野 克夫	栃木県歯科医師会 専務理事
2	植原 雅章	栃木県歯科医師会 常務理事
3	印南 秀之	栃木県歯科医師会 理事
4	林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
6	伊澤 純一	栃木県教育委員会事務局 学校安全課長
7	青山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

③ とちぎ歯の健康センター運営等協議会

とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回歯科相談・指導、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に関する事業の実施内容の充実について協議しました。

- ・ 日 時： 平成 31 年 3 月 14 日
- ・ 場 所： とちぎ歯の健康センター
- ・ 議 題 (1) 平成 29 年度及び 30 年度の事業実施状況について
- (2) 平成 31 年度事業実施計画案について

とちぎ歯の健康センター運営等協議会委員〔任期:H31(2019).3.1～令和4(2022).2.28(3年間)〕

No.	氏 名	所属・役職等
1	大野 克夫	栃木県歯科医師会 専務理事
2	箱島 光一	栃木県歯科医師会 常務理事
3	長島 啓智	栃木県歯科医師会 理事
4	林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5	安部 孝子	栃木県手をつなぐ育成会 監事
6	峯山 敏正	栃木県障害者施設・事業協会 副会長

V 令和元(2019)年度に講じる施策

計画の項目	事業項目	事業概要	ライフステージ等					予算額 (単位:千円)	
			乳 幼 児	学 ・ 高 校 生 中	小 学 生 人	成 人 者	高 齢 者		介 護 者 ・ 障 害 者 要
1 歯 や 口 腔 と 関 係 す る 病 気 等 の 予 防 の 推 進	(1) 栃木県口腔保健支援センターの運営	市町や関係機関と連携しながら、歯科保健対策の企画立案や助言指導などを行う。	○	○	○	○	○	2,435	
	(2) 歯と口腔の病気を予防する取組の促進								
	① 永久歯等対策事業	保育所・幼稚園・障害児通所施設等に歯科衛生士を派遣して、児童や保護者等に歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発を行う。	○		○				2,310
	② よい歯のコンクール(三歳児、親子、学校、作品)	歯と口腔の衛生状態が良好な人やその優れた取組を表彰する。	○	○	○				300
	③ 普及啓発事業	リーフレット等の作成・配布により普及啓発を行う。	○	○	○	○	○		127
	④ 歯と口の健康週間事業	歯と口の健康週間に合わせて、各地域で歯科専門職と連携した講演会や保健指導を行う。	○	○	○	○	○		972
	(3) 小学校におけるフッ化物洗口の推進								
	① 歯科疾患予防推進事業	小学校でフッ化物洗口を行う市町に対して助成する。		○					1,900
	② フッ化物洗口普及事業	市町によるフッ化物洗口の実施にあたり、歯科専門職の派遣による技術的支援を行う。		○					767
	(4) 歯と口腔機能の衰え(オーラルフレイル)の予防								
	① 多職種連携による栄養指導・口腔機能向上事業	歯科と他職種との連携に関する先進事例や課題等の把握を行うとともに、要介護者等の口腔機能維持への支援のあり方について啓発資料にまとめる。					○	○	1,934
	② 障害者及び高齢者のオーラルフレイル等対策事業	事業所・施設等で障害者及び高齢者のケアに関わる職員を対象に、日常の口腔ケアに関する研修を行う。					○	○	200
	③ 普及啓発事業	(再掲)	○	○	○	○	○		—
	(5) とちぎ歯の健康センターを拠点とした歯科保健活動の推進	展示パネルや視聴覚資料の充実を図るとともに、啓発のための貸出しなどを行う。	○	○	○	○	○		677
	2 す る 啓 発 と 検 診 の 普 及	(1) 永久歯等対策事業	(再掲)	○		○			—
(2) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業		(再掲)					○	—	

計画の項目	事業名	事業概要	ライフステージ等					予算額 (単位:千円)
			乳 幼 児	学 小 学 高 校 生	成 人	高 齢 者	介 護 者 要	
科3 保健 障害 療者 サ ー 要 ビ 介 ス 護 の 者 確 へ の 歯	(1) とちぎ歯の健康センター障害者歯科診療・相談事業	障害の特性などから歯科治療が困難な障害者の歯科治療を行う。また、家族や施設職員等からの歯科保健医療に関する相談に対応する。					○	21,494
	(2) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業	障害者及び高齢者施設における入所者の誤嚥性肺炎の予防や口腔機能の維持・改善のため、施設訪問による歯科検診及び口腔ケア指導を行う。					○	2,804
	(3) 障害者歯科医療に関する研修事業	高次歯科医療機関において、地域の歯科医を対象に研修会開催する。					○	480
整4 備 歯 科 保 健 医 療 提 供 体 制 の	(1) 歯科保健従事者研修会	歯科保健指導者や歯科医療従事者を対象に、資質向上のための研修を行う。	○	○	○	○	○	160
	(2) 在宅歯科医療従事者研修	在宅歯科医療の推進のため、歯科医療従事者を対象に研修を行う。	○	○	○	○	○	684
	(3) 在宅歯科医療連携室整備事業	県歯科医師会が開設する連携室の運営に対して助成する。	○	○	○	○	○	1,623
	(4) 歯科衛生士の再就職等支援事業	歯科衛生士の再就職やスキルアップを支援するため、県歯科医師会の行う事業に対して助成する。	○	○	○	○	○	749
	(5) 歯科保健推進協力事業	県歯科医師会に対して交付金を支給することにより、各地域で歯科保健対策推進事業を展開する。	○	○	○	○	○	7,200

VI 資料：市町の歯科保健推進に関する条例制定及び計画策定状況

市町名	条 例				歯科単独 計画	健康増進 計画に歯科 の記載有
	制定済	公布日 施行日	条例名	検討中		
宇都宮市	○	H29.9.29 H29.11.8	宇都宮市歯と口腔の健康づくり推進条例		○	○
県 西	鹿沼市	○	H25.3.21 H25.4.1	鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例		○
	日光市	○	H23.7.3	日光市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
県 東	真岡市					○
	益子町	○	H27.3.18 H27.4.1	益子町民の歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
	茂木町	○	H27.3.13 H27.4.1	茂木町歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
	市貝町	○	H27.3.10 H27.4.1	市貝町民の歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
	芳賀町	○	H27.3.8 H27.4.1	芳賀町民歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
県 南	栃木市	○	H26.3.20 H26.4.1	栃木市歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
	小山市	○	H25.3.22 H25.4.1	小山市歯と口腔の健康づくり推進条例	○	○
	下野市	○	H26.3.20 H26.4.1	下野市歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
	上三川町	○	H31.3.22 H31.4.1	上三川町歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
	壬生町	○	H26.3.12 H26.4.1	壬生町歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
	野木町	○	H29.12.22 H30.4.1	野木町歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
県 北	大田原市					○
	矢板市	○	H31.3.20 H31.4.1	矢板市民の歯及び口腔に関する健康づくり推進条例		○
	那須塩原市					○
	さくら市	○	H31.3.19 H31.4.1	さくら市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
	那須烏山市	○	H25.3.19 H25.4.1	那須烏山市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例		○
	塩谷町	○	H30.9.25 H30.9.25	塩谷町民の歯と口腔の健康づくり推進条例		○
	高根沢町				○	○
	那須町					○
那珂川町					○	
安 足	足利市	○	H25.12.25 H26.4.1	足利市民の歯及び口腔の健康づくりに関する条例		○
	佐野市	○	H25.3.18 H25.4.1	佐野市歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
		19		1	6	25
県	栃木県	○	H22.12.21 H23.4.1	栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
国	厚生労働省	○	H23.8.10	歯科口腔保健の推進に関する法律	○	○

■ 歯科保健条例を策定している都道府県・・・44道県(H31.4月現在)